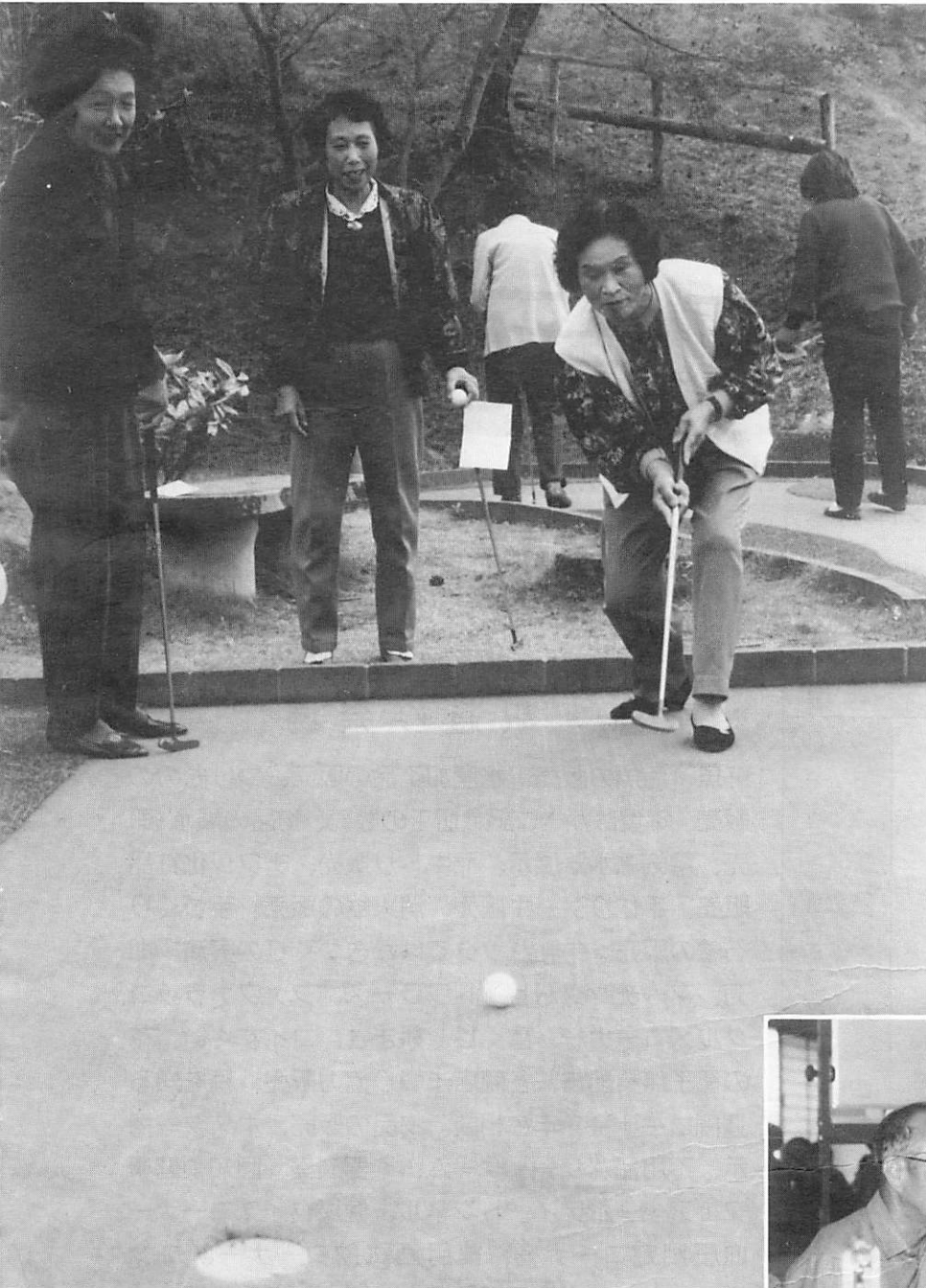


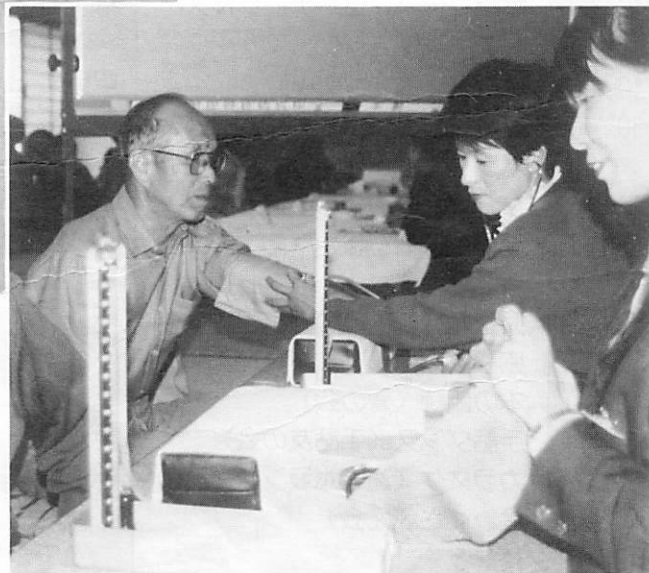
阿知須町民憲章

- 一、勤労を尊び、奉仕の精神で励みます。
- 一、スポーツに親しみ、健康で明るいくらしを築きます。
- 一、生涯を通して学び、うるおいのある生活を求めます。
- 一、しまりを守り、温かい心のふれあいを広げます。
- 一、伝統と自然を大切に、住みよいまちをつくります。



▲「入れ・入れ！」パットゴルフに熱中

▶血圧測定で体調確認



パットゴルフに興じる

健康づくりの勉強会

健康づくりはまず自分の体調を知ること、そして、自分に合った運動を。もちろん、その前には正しい知識も頭に入れて……町主催の健康づくり講座には四十歳過ぎの人、約二十人が受講しました。

一回目は十月三十日、二回目は十一月六日、それぞれゴルフ観光ホテルを会場として、食生活(食道ガンの知識など)医師の講話がありました。また、町国民健康保険の状況について担当者の話、保健婦指

導の血圧測定もあって、レクリエーションとしてパット・ゴルフなどにも興じました。健康保険の療養費は平成二年度の場合、本町は一人当たり三十七万四千円で県平均二十九万一千円より七万三千円も多く、県下五十六市町村のうち三番目に多くかかっています。こうした説明にも熱心に聞き入り、「医療費のかわらないようにしようね」と隣の人に呼びかける人もありました。

第5回

あじす
ふれあい
まつり

産業祭

展示

バザー



11月10日(日)
9時30分~15時

さあて、私の名前は
なんと言うのでしょうか、
下の問に答えてネ。答えは8ページ
の下にあります。
①クマさんで〜す
②ネコさんで〜す
③ラッコさんで〜す

会場

農協会場
駅前会場
駅前通り会場
町内会場

駐車場

町役場
阿知須小グランド
山銀駐車場
吉南駐車場

※農協会場

焼肉、うどん、もち、もち米、むすび、フライドポテト、ポン菓子、綿菓子、果樹、ぜんざい、ふれあい市(新鮮野菜等)かぼちゃ青果、たまねぎ苗、柿ずし、TBA、生産資材、農機具展示即売、農協婦人部による演芸、生花展示、立体栽培のモデル

10日(日) 日程表

時刻	内容	会場
7:00	花火打ち上げ	
9:00	交通規制開始	
9:30	花火打ち上げ	
	開会式	駅前
9:40	催し場、即売開始	各会場
9:40	マーチングバトントワラース (若鷲幼稚園)	駅前
10:00	ボランティアコーナーONステ ージオープニング	駅前
10:10	金管バンド(井関小)	駅前
10:40	カラオケ、交通安全クイズ(運転 ボランティアの会、くさぶえ会)	駅前
11:30	ケン玉模範演技(上重卓広)	駅前
12:00	富くじ、もちまき(商工会)	駅前
13:00	演芸	農協
13:00	児童劇(ひよこの会、母子推進 協議会)	駅前
13:20	本の朗読(響の会)	駅前
13:40	手話ダンス(手話友の会)	駅前
13:50	カラオケ(運転ボランティアの 会、くさぶえ会)	駅前
15:00	終了	
15:30	交通規制解除	

※駅前・駅通り会場

鮮魚・活魚の販売、水産加工品の販売、つけものの販売、年賀はがき、記念切手の販売、物品の展示・即売、電気温水器展示、ヤキトリ販売、チフレ化粧品販売、手作りケーキ販売、消火器の販売、手づくり石鱈の販売、牛乳パックではがきづくりの実演・即売、マーチングバトントワラース、ファファラッコ、グルメコーナー、富くじ、餅まき、コイすくい、花の種子無料配布、各商店まつり協力販売、税を知る週間コーナー、年金相談、物品の販売、ポスター掲示、不用品バザー、ゲーム、楽器演奏、阿知須健康フェア……ボディートンネル、健康クイズコーナー、血圧測定コーナー、薬用酒試飲コーナー、コンピューターによる健康調査コーナー、パネル展コーナー

●ボランティアコーナー……手話の紹介、衣類贈答品販売、赤い羽根共同募金、介護用品の展示福祉の輪づくり展示の各コーナー、凧・竹とんぼづくりの実演・即売、カラオケ・朗読・ヨーヨーコーナー、綿菓子販売



くらしを支える税

11月11日～17日 税を知る週間

十一月十一日から十七日まで「税を知る週間」です。社会福祉や教育など、私たちの生活にかかわりがある税金が、どんな仕組みになっているのか、また、どのように使われているのかなど「正しく理解しようとするための週間」です。

ことしは「暮らしを支える税」を主題にして、税務相談や税金についての資料展示などを行います。

「税を知る週間」に先立ち、本町でも十一月十日ふれあいまつりの会場に「税を知る週間コーナー」を設けて、税について意識の高揚を図ります。また、山口税務署では十一月七日から十二日まで、山口市のちまきや四階で「税金展」を開催します。税について無料相談も行います。どうぞご利用ください。

平成3年度 一般会計予算

農林水産業費がトップ

三年度町の一般会計当初予算は歳入歳出とも二十五億三千七百三十一万六千円。この当初予算を千円としてみると、どのように分けられるでしょうか。トップは農林水産業費で二百九十九円。次いで土木費の二百円、総務費の百四十八円、衛生費の百二十七円で、これらで全体の約七割に当たります。以下、民生費百四十四円、教育費九十五円、公債費七十四円、その他四十三円。(図参照)

昨年と比べて増えたのは、農林水産業費、土木費と民生費でその他は減少しています。教育費の大幅減は前年度に阿知須中学校管理棟改築工事が完了したためです。

年末調整説明会

11月29日 町公民館で

山口税務署は給与所得者に対して平成三年分の年末調整説明会を開きます。会社など給与関係の事務担当者が対象。

▽日時 十一月二十九日(金) 午後一時半から三時半まで
▽場所 町公民館二階大会議室
当日は午前九時半から同会場にて青色申告の決算説明会も開かれます。



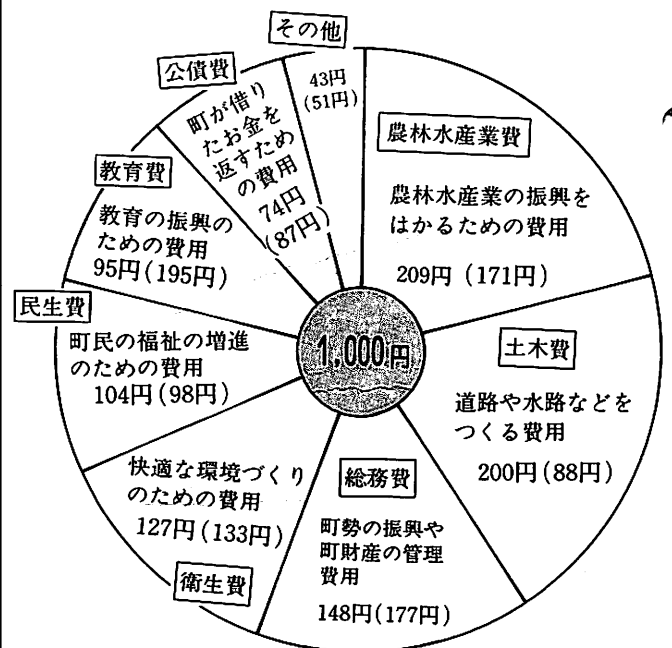
⑤

1世帯平均 3.34人

九月号は老人の人口の増加の状況を述べましたが、今号と次号では年齢構成を記してみましよう。

国勢調査は国内に住む人の住居、人口、年齢、その他生活の基本事項を五年ごとに調べて数字で表わすことになっています。

今回は平成二年十月一日現在で行い、調査票を総務庁統計局に集めて集計中です。その結果は、集計できたものから順次発表しますが、九



()内は前年度

月には年齢構成が発表されましたので、本町の関係を中心にとりあげます。

年齢構成は

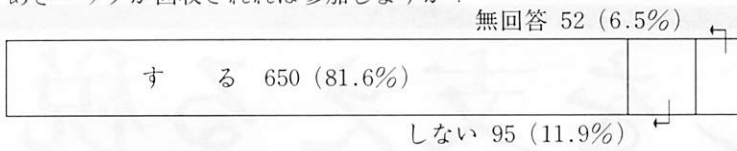
本町の総人口は平成二年十月一日現在 計 八、三八五人
男 三、八四八
女 四、五三七
世帯数 二、四一九

五年前の昭和六十年と比べて総数で二十二人減、世帯数は八十五増です。一世帯当りの構成人員は平均三・三四人(前回三・六人)と減っています。つまり、世帯数は増えているが一世帯当りの人数が少なくなっているのです。県平均は二・八八人(市部平均二・八四、町村部三・〇一)番目です。

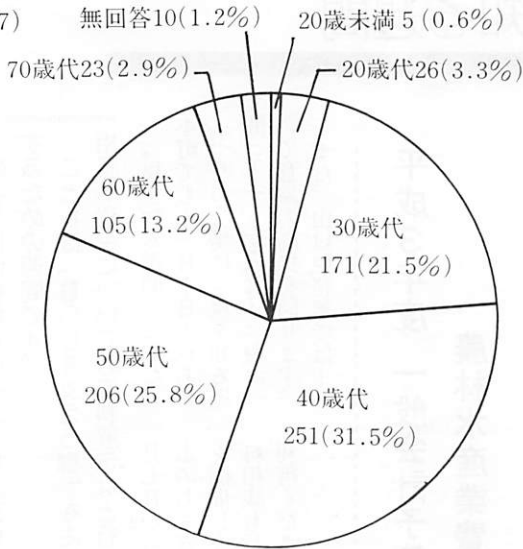
年齢構成は 15歳未満 一、三七二人 一六・四割
15歳以上 一、五九二人 一六・四割(合計差八は不詳)
五年間で人口総数が二十二人減っているのに比べて十五歳未満は二百六十六人減、六十五歳以上の老年人口は百九十四人増えており、子どもが少なく高齢者が多くなっていることを示しています。

老年人口の最高は東和町(大島郡)の四一・五割、最低は小郡町の二〇・六割。本町の一九・〇割は県下五十六市町村のうち低い方から二十三番目です。

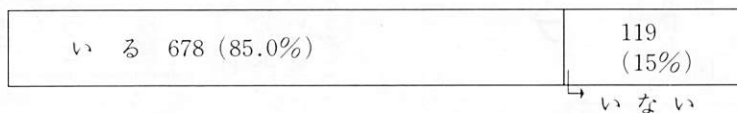
あきパックが回収されれば参加しますか？



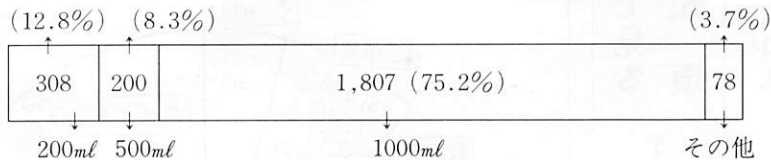
回答者年齢
(総数 797)



パック入り牛乳を使用していますか？

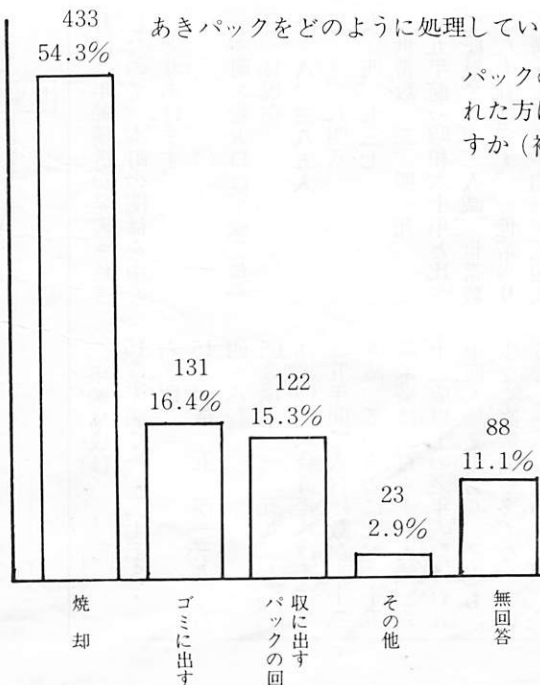


パック入り牛乳を使用して“いる”とお答えの方で、ご家庭での1週間の使用パック数はどれくらいですか？(複数回答)



▲回収された牛乳パック(井関小)

あきパックをどのように処理していますか？



パックの回収に出す、と答えられた方はどこに出しておられますか(複数回答)

小学校	63
山口生協	54
宇部友の会	4
学校生協	3
幼稚園	2
保育園	1
善和園	1
山口中央高	1
無回答	2

牛乳パック回収に向けて

リサイクル連絡協議会発足

貯蓄生活設計普及地区(伊藤利子推進員)阿知須婦人会(上野タケ子会長)井関婦人会(江本紀代子会長)阿知須消費生活研究会(山根傳美子会長)の四団体は、牛乳パックの回収について初のアンケート調査を実施しました。これは最近のリサイクル運動の高まりの中、本町の町民の意識を調べたもの。六月上旬町内にアンケート用

紙を五百枚配布、回収率は八八・八%(七百九十七枚)でした。その結果「回収されれば参加する」が八割を占めました。これをもとに実施四団体では、行政、町内小売店、消費者の関係組織の役員に呼びかけ、十月七日リサイクル活動懇話会を開き、意見交換をしました。

協力し、町ぐるみの活動として進めていくことで一致しました。しかし、活動を実施するには回収日、回収場所、回収方法や回収業者と小学校の今後の取り組みなどを具体的に煮詰める必要がある、再度会議を開く予定。

なお、この席上、リサイクル連絡協議会が発足しました。アンケートの結果は次のとおり。

「広げよう奉仕の心」

阿知須小 ボランティアクラブ

阿知須小学校(工藤敦校長・三百七十人)にボランティアクラブができて二年目。敬老事業やリサイクル運動を進めています。

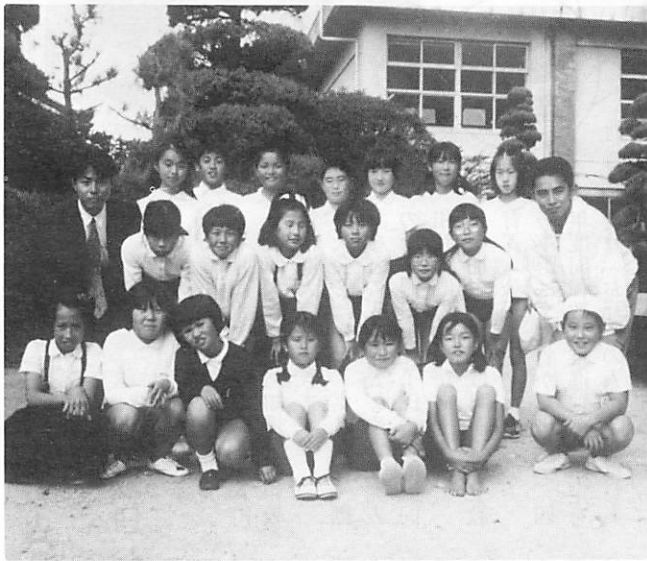
これまでの活動は、井関川、阿知須駅周辺の清掃、町をきれいにするポスターを作って町内に貼付、一人暮らしの老人に手紙や誕生日カードを送付したり、アルミ缶やロータスクーパーの収集で車いす購入費用を町社会福祉協議会に寄附など。

現在、牛乳パック回収の中心になっているのもボランティアクラブ。

クラブの目標は『みんなのために自分たちができることは何かを考え、実行していくこと』

活動を通じて、いろいろな呼びかけをし、奉仕の心が学校全体に、町全体に広がっていくようがんばっています。

現在ボランティアクラブは十九人。宮内辰夫、辻本紳一朗両教諭が担当



▲ボランティアクラブのみなさん



▲収穫は楽し……

のびのび農園で 収穫の喜び体験

井関小のふるさと学習

「十二月にはお餅がつけるゾ」……井関小学校の生徒たちは稲の収穫の喜びを味わうとともに、その成果としての餅つきを楽しみにしています。

同校がふるさと学習の一つとして、地区の人から水田四アールを借り受け、「のびのび農園」と名づけて田植えをしたのが六月二十二日。その後、台風にも出合いましたが生徒たちの願いが通じて立派に成育。十月十九日に刈り取りを

終りました。

周辺の田ではコンバインが手早やく作業しているのに比べて、ここでは鎌もつての稲刈り。生まれて初めて鎌を手にする子もいましたが、先生やおかあさんたちの指導を受けながら馴れない手つきで作業。むかしの人たちの苦労をチョッピリ体験しました。

二期の終りごろには餅つき大会をしてみんなが収穫を喜び合うことになっています。

献血功労者

本町から7人が表彰

第二十七回献血運動推進全国大会が七月に長野県で開催されましたが、この席上、献血功労者として本町からは次の七人が表彰されました。

(敬称略)

(百回以上)

・濱崎 敦二(砂三・59歳)

(五十回以上)

・工藤 太作(築地)

(三十回以上)

・川崎 孝文(中村)

・小林 孝士(浜)

・村長 正悟(仙在)

・藏谷 光則(縄南)

・岡村 新一(飛石)

犯人の情報は

110番へ

11月は指名手配捜査月間

11月は「指名手配被疑者捜査強化月間」です。

警察では総力をあげて指名手配犯人を追っています。公開捜査している犯人については、人目のつきやすい場所にポスターが掲示してあるので「犯人を見たり聞いたりしたときは、すぐ110番してほしい」と呼びかけています。

通報者の秘密は固く守り迷惑はかけないとのことです。通報先は警察本部(☎110)小郡警察署(☎0839772) (0110)

県内で110番に電話すると山口県警察本部の通信室に直通です。連絡の内容は受信と同時に県内のパトカーに連絡され、警察官が現場へ急行することになっています。

11月は

「ゆとの創造」 月間です

雇用保険の不正 受給ダメですよ

職安が協力呼びかけ

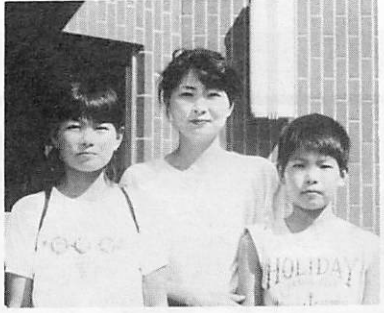
労働省は十一月を「雇用保険さわやか受給推進月間」と定め、雇用保険制度の健全な運営と不正受給の未然防止に努めています。

このため山口職業安定所では事業主が雇用保険の受給者を採用した場合には「パート、アルバイト、試用期間などを問わず雇入れの初日を雇用年月日として届け出てください」とまた「受給者へも雇用保険の不正受給をしないよう指導してほしい」と協力を呼びかけています。

公民館だより



スポーツ少年団運動会(リレー)



▲体力づくり
オリエンテーリング
1位 古川由美親子組

地域指定でさらに理解を

11月27日 同和教育推進大会

町と同教育委員会は十一月二十七日(水)午後一時半から町公民館大講堂で阿知須町同和教育推進大会を開きます。

大会では作文・ポスター・標語などの入賞者表彰や作文発表のほか門田美和子氏の講演「同和教育に思う」があります。

参加申し込みは町教委社会教育課(公民館内)へ。

本町は文部省から平成三、四年度同和教育推進地域の指定を受け「お互いの人権を尊重しあい、温かい心のふれあうまちづくり」を推進目標にして、学校

同和教育や社会同和教育を進めています。

阿知須中学校は文部省および山口県教育委員会の研究指定校として「共に学び合い、支え合う生徒の育成」を、また、井関小学校は山口県教育委員会の研究協力校として「一人ひとりを大切にし、心豊かな児童の育成」を目標にして、研修を重ねています。

阿知須小学校も町教育委員会の研究協力校として日々実践をしています。

このように、二十一世紀を支える子どもたちは、同和問題に

好記録をめざして

12月8日に町内駅伝

町教委と町体協では恒例の「町内駅伝大会」を次のとおり開きます。

▽日時 十二月八日(日)
午前十時スタート

▽コース 七区間合計十五キロ
町内駅伝は今回で四十二回目、昭和五十六年に現在のコースに変わりましたが、各区間、これまでの大会記録は表のとおりです。

昨年の出場は九チームでした。ことしも好記録をめざして頑張ります。

区間	区分	距離(m)	氏名	地区	時間	年度
1	小学生	1,550	哥川公一	河内・源河	5:10	昭和60年
2	青年	2,200	藤田晃三	引野	6:57	昭和56年
3	中学生	2,700	金本高志	岩倉	8:39	平成元年
4	40歳以上	1,150	沖西清治	小古郷	3:27	昭和62年
5	高校生	2,800	柳井喜春	引野	8:34	昭和62年
6	30歳以上	2,000	青木則篤	旦岡	5:52	昭和60年
7	青年	2,600	青木則篤	旦岡	8:10	昭和59年
トータル		15,000	旦岡チーム		51:26	昭和61年



平成3年度 町同和教育推進大会
ポスターの部 特選
阿中2年 坂井春美さん(旦北)

ついで正しく同和教育を受け、お互いの人権を尊重し、温かい心のふれあう阿知須町になろうに成長しようとしています。

大人も同和問題について正しい理解と認識を深め、家庭や地域で人権感覚を高めることが必要です。

社会同和教育では、同和教育地区懇談会、指導者養成講座など同和教育推進委員会を中心に進めてきましたが、より多くの人の理解を深めるために今年も「阿知須町同和教育推進大会」第十四回を開くわけです。

大声108ホーン

体力づくりの集い1番

町教委主催の「町民健康体力づくりの集い」が十月十日(祝)体育センターと体育センター前広場で約百人が参加して行われました。

毎年恒例の「おらが町No.1コーナー」の第一位は次のとおりです。

- リンボーダンス 記録五六センチメートル、木村 美己(赤迫)
- スピードガン(球速) 記録一〇一棧、国重 将司(砂三)
- 大声に挑戦 記録一〇八ホーン、林 智也(南祝) 村田 恭

少年サッカーなど

11月のスポーツ大会

- ▽近郷少年サッカー大会 十一月十七日(日) 午前九時から阿中グラウンド他
- ▽近郷少年剣道大会 十一月二十三日(祝) 午前九時から体育センター
- ▽近郷少年柔道大会 十一月二十四日(日) 午前九時から体育センター

各種大会の成績

- ▽スポーツ少年団運動会(10/10、スポ少本部、町教委主催)
- ①柔道スポーツ少年団②JVC
- ③井関サッカースポーツ少年団A④同B⑤剣友会
- (百斤競争表彰者) 一位のみ
- ▽一年(丸)上村泰宏(剣道)(安香川郁恵(サッカー)▽二年(丸)藤井研吾(バレー)(安福永千絵(バレー)▽三年(丸)橋本拓雄(サッカー)(安石本美佳(サッカー)
- ▽四年(丸)浜西敬太(剣道)(安竹原三順(同)▽五年(丸)村田大輔(同)(安坂井玲香(同)▽六年(丸)縄田徹也(同)(安福来直子(同)

☆図書室への芳志

福増明義(井関)さんから図書室の図書購入費として。

体育センターの屋根を修理

九月二十七日の台風19号で勤労者体育センターの屋根が一部破損しましたが、十月中に修理を終えましたが、その間利用者にご不便をかけたことをお詫びします。



▲スポーツ少年団運動会(玉入れ)

ふれあい広場

「ふれあい広場」はみなさんのページです。町政への提言や身近な話題、絵画、写真など町企画課（有線二一四四）へお寄せください。



第三回中国けん玉道大会優勝

上重 卓 広さん(こ)

岩前

日本けん玉協会広島総支部主催の第三回中国地区けん玉道大会が九月二十九日広島市で開催され、本町岩前区の上重卓広さん(西京高二年)が中国選手権部門で初優勝をし、来年五月に東京で開かれる全国大会に出場権を得ました。



「これまでに六回ほど大会に出場したがいつも準優勝止まりで今回優勝できてもううれしい。毎日練習をしたかがあるし、た」

けん玉を始めたとき「小学校四年の時に町教育委員会主催の『けん玉教室』に参加したのが初めてです。翌年、阿知須で第三回西日本けん玉道選手権大会が開催されたので出場してみたら階級別で準優勝しました」

けん玉の魅力と続けさせるものは何ですか
「集中力とバランス感覚がものすごく必要です。確実に技がこなせるようになった時の嬉しさは何んでもいえません。それと大会の会場でいろんな人と友だちになります。連絡を取り合ったりしていると『今度の大会も来いよ』といった具合に誘われたりもします。よきライバル、よき友だちに出会えます。大会で顔を合わせて話したりするのも楽しみの一つです」

学校の試験期間中は休むこともあるが平常は毎日練習。大会前は二・三時間も続け七年間中国一に。いま『日本一』をめざして精進中。
ことしの町教委主催のけん玉教室では講師となって小学生の指導に当たった。家は両親と姉の四大家族。

短歌

梶間谷 泰子
窓下に赤き敷物しく如く咲く曼珠沙華照る陽に映し

原田 キクエ
凌波の河原床に立並ぶ十字架の如き杭並び居り

松田 文世
来春の花壇のさまを描きつつ球根植ゆる秋の光りに

福嶋 ヤス子
朝露を踏みて手折りし薔薇の花

櫻井 文子
顔を揃えて我を迎へり

中本 幸枝
段を来る老人等賑かなりき

松尾 君代
二度かぶりしを茫然と見る

廻廊も塔も入れたしポーズとる人に急かれてシャッターを切る

藤重 アヤ子

小夜更けて雨戸打つ音さみしかり夫をなくして一人の吾は

藤重 幾代
ロソクも燃え盡き闇に馴れて見る台風去りし空以外に明るし

砂村 ヤス子
家中にバーステーカーキ焼く句ひ何にとはなしに心はづめり

三住 清子
思はざる大型台風吹き荒れて老いたる吾も命ちぢまる

宮原 ツネ
吾が母は五十路の若さで病床に

善意はここに

◇社会福祉協議会へ◇
◇香典返し◇岡本信爾さん(杖川)は父守さんの▽福増明義さん(井関)は妻ツヤコさんの▽藤田賢子さん(引野)は夫研介さんの▽松重仁さん(西条)は父三次さんの▽片山武昭さん(河内)は父浩太郎さんの▽弘中藏さん(東)は母ミサ子さんの▽松本哲雄さん(岡)は母ヒサ子さんの
◇篤志▽匿名(214回)

よきなごみ

(10月25日受付分まで)
出生(おすこやかに)
子の名 続柄親の名月日住所
坂井ひとみ長女 勝己 9・28 杖川
三原 佑未長女 忍 10・2 旦北

死亡(ご冥福をお祈りします)
氏名 死亡日 年齢 住所
川口 ハナ 9・30 70 西条
藤田 研介 10・5 74 引野
安村 瑠子 10・12 61 沖の原
大澤 保 10・14 56 中村
弘中ミサ子 10・15 78 東
國重 タカ 10・15 90 源河
松本ヒサ子 10・19 81 岡

臥し牧師の祈り安らかに逝く
村田 ウメノ
おそろしく強き暴風にみまはれて停電つづき生ける気もせず

役場のまど

▽十月二十八日午前十時十分ごろの地震は役場の庁舎内で仕事をしていた者を驚かせました。庁舎が出来たのは昭和四十四年七月。鉄筋コンクリート造ですが、これほど揺れたのはこの庁舎を使い出して初めてのこと。机の下にもぐり込もうとした職員もいたほどです。役場の南窓からは阿知須小学校講堂が見えますが十九号台風災害復旧のために屋根に上っていた大工さんが四ツん這いになって足場にしがみついている姿も見えました。高いところで揺られて怖かったことでしょう。この日の震度は3。ことしは台風、地震とも異常体験をした年でした。この上に火災を体験することのないよう防火に心がけたいものです。

▽最近、本町での土地売買や土地造成が盛んです。本町内で千平方メートル以上の土地開発(建物を作るための造成)をされる場合、町と協議していただくことになっています。紛争を事前に防止するために役立ちます。早目にご相談いただきたいと思います。

